

小倉駅新幹線口コンベンション施設 指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針 「地域ネットワークを活かしたグローバル志向のMICE推進により、都市ブランド力の向上に貢献する」ことを理念に掲げ、小倉駅新幹線口コンベンション施設と、当協会が所有する西日本総合展示場の一体的・有機的な管理運営を行い、観光事業との連携による効果的な情報発信機能を強みとして、施設の設置目的の達成を目指した取り組みを進める。</p> <p>(2) 安定期的な人的基盤や財政基盤 昭和52年西日本総合展示場のオープン以来、管理運営ノウハウを継承し、様々な資格を有する職員や民間派遣職員など多彩な人材で構成されている。 社会的信用と公益性を持つ公益財団法人として、自主財源の確保と持続可能な財政基盤の確立に努めており、近年の正味財産は毎年黒字で推移するなど、高い財務的安全性と健全性を堅持している。</p>
<p>2 管理運営計画の適確性</p> <p>【有効性】に関する取り組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的達成に向けた取り組み 施設運用にかかる要求水準を確保しながら、利用件数や稼働率、来場者数などの目標を達成するため、以下のとおりMICEの推進等に積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室予約の利便性向上、会議室の利用促進 ・国内外の学会・大会主催者への誘致活動、関係団体との連携した誘致活動 ・観光事業との連携によるアフターコンベンション等の充実によるMICE開催地としての魅力向上 ・産業振興型自主事業の強化・継続開催や、新たな自主事業の開発・誘致 <p>(2) 利用者の満足度 利用者満足度の向上を図るため、利用者へのアンケートをはじめとして幅広く利用者の声を収集し、施設の管理運営に反映する。特に、苦情に対してはマニュアルを整備し、適切に対応するとともに、情報の共有により未然に対策を講じている。 また、利用者のニーズを的確に把握し、施設や設備などハード面の要望に、サービスの質の向上などソフト面の充実を図ることにより、多様な利用者のニーズに合致したサービスを提供する。</p>

	<p>【効率性】に関する取組み</p>	<p>(1) 指定管理料及び収入の見込み これまで引き続きコスト削減に取り組みながら、施設や設備の対応や機能の拡充など、指定管理料等の資金を活用し施設改修等を行っていく。 また、過去の実績等を基に今後の見通しを算定するとともに、利用料金設定を工夫するなど施設の稼働率向上を図り、収入の増加にも取り組む。</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 支出においては、これまで実施してきた経費節減を継続し、保守点検やサービスを低下させることなく、業務や事業の再編、入札・契約方式の見直し等による主要経費の節減を図る。節減した資金を基に、光熱水費の原価上昇分を吸収し、施設の改修や機能の改善、MICE誘致活動の強化を図る。 収入においては、利用料金収入は過去の実績と今後の利用予約の見通し、利用促進策等を勘案のうえ積算し、指定管理料の大幅な低減を図り、要項に定められた範囲内で、利用料金等収入と管理運営費支出のバランスを維持し、安定した施設の管理運営を実現する。</p> <p>《提案額》</p> <table border="0"> <tr> <td>平成31年度</td> <td>254,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>254,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>254,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成34年度</td> <td>254,000千円</td> </tr> <tr> <td>平成35年度</td> <td>254,000千円</td> </tr> </table>	平成31年度	254,000千円	平成32年度	254,000千円	平成33年度	254,000千円	平成34年度	254,000千円	平成35年度	254,000千円
平成31年度	254,000千円											
平成32年度	254,000千円											
平成33年度	254,000千円											
平成34年度	254,000千円											
平成35年度	254,000千円											
	<p>【適正性】に関する取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など 3施設一体の管理運営体制を「施設別」ではなく「機能別」に体系化し、効率的・効果的な施設の管理運営にあたる。 また、現在全国や海外にも連携体制を構築しており、きめ細かな情報収集や広報活動による誘致活動を展開するとともに、今後もより地元関係者との連携を図り、利用者や来場者が小倉駅周辺や市内全域へ足を運ぶ環境づくり等にも取り組む。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 協会で規定する「個人情報保護規程」や「情報公開要領」に基づき適正に管理するとともに、「コンプライアンス・プログラム」を策定し、職員への研修を通じて職員に周知徹底する。 また、公の施設であることを十分認識し、公正・公平な取り扱いを遵守するとともに、暴力団の排除等市民が安心して利用できる環境づくりに取り組む。 加えて、設備の予防保全に基づいた事故防止に努め、良好な利用環境を提供する。また、危機管理体制も緊急連絡網やマニュアル等を整備しており、万全の体制で緊急時に備えている。</p>										